

カロンデレットの聖ヨゼフ修道会

2001年総会決定事項



**CREDITS**

**Communications Office  
Sisters of St Joseph of Carondelet  
Latham, New York**

**Mary Rose Noonan, CSJ**

*Layout*

Layout adapted by Helene Wilson CSJ

**Marion C. Honors, CSJ**

*Artist/Design*

## 目次

導入.....	5
「総会決定事項」	
聖なるものとの交わり： 霊性 .....	6
創造物との交わり： 地球との関係.....	7
個人間の交わり： 継続的な共同体の活性化.....	8
教会との交わり： 正しい関係と正義.....	9
「親愛なる隣人」との交わり： 使命のための集団の力.....	10
その他の総会決定事項	
活動.....	11
リーダーシップ.....	12
<b>会憲</b> および <b>補則書</b> の変更.....	13
2007年修道会総会の構成.....	14
結びの言葉.....	16



## 「総会決定事項」

2001年修道会総会では修道会の使命について説明するにあたり、スパイラル(らせん形)という形の概念を用いています。この概念は、私たちのプロセスや、内容、結果を形づくれます。スパイラルは、動きやエネルギーの動力がその真ん中、すなわち心臓部に流れ込み、それが外に流出します。渦を巻いて内側に流れ込み、外側に流れ出すことにより、エネルギーが交換、放出、修正されます。私たちが持つスパイラル概念のもっとも中心部にはコミュニオン(交わり)があります。交わりは、私たちの最も根底における神や創造物とのつながり、そして神に根づくことを示唆し、私たち自身を「親愛なる隣人」と分かち合うように駆り立てます。

交わりは、「困っている私たちの世界」とともに使命を続けるために外部へと邁進するためのエネルギーの源です。交わりは、「合意声明」、私たちの会憲と補則書、前総会の「決定事項」に示される、神や私たち自身、そして「親愛なる隣人」との一体化という体験へと私たちを導く高度な心の通じあいを反映しています。修道会総会では私たちが真の交わりに満ちた生活を送るように呼びかけています。

スパイラルの概念は引き続き私たちに影響を与えています。総会主導によるフォーカス・トピック(主題)を探すにあたっては、スパイラルの動きには入り口とエネルギー点がたくさんあることがわかります。各主題は他の主題に関連しており、それらの主題を見るとときに私たちは交わりというレンズを通して見る事がわかります。

5

### 聖なるものとの交わり： 霊性

福音の価値に根ざして、私たちは常に神をより深く理解したいと望んでいます。そして、すべての生き物や創造物は互いに関係しており、神聖であることを認識しています。私たちの会憲では、神との関係とは生きている、常に変化しているものであることを理解するように呼びかけています。私たちは祈りを通して、イエス・キリストの使命に参加することになり、聖霊からの贈り物である変容が可能になります。私たちは、他の人たちが神聖であるとみなすものを尊重し、愛するように努力します(1997年「総会決定事項」)。そして、信仰を深める原動力への目覚めや気配りを続けるように自分自身に挑戦します。私たちは、自分たちの霊性がCSJアイデンティティや、「親愛なる隣人」との一体化を説く福音の呼びかけと切り離せないことを忘れずに、自分たちが次のことをすることを誓います。

- CSJのカリスマ、中核となる文書、現代的神学および宇宙論に対する私たちの理解と熟考を深めること。
- 信仰の上の霊的刷新の機会への支援・参加
- 修道会内外において自身の洞察や体験を分かち合う機会を生み出し、それに参加すること。
- 多様な形態による神の体験を理解し、尊重すること。
- 祈りの形態の多様性に心を開くこと。

## 創造物との交わり： 地球との関係

すべての生物および創造物は神聖であるという私たちの信念は、私たちが住む地球に対する配慮を生じます。地球の美しさと豊かさは私たちの精神を活性化します。地球上の生態系の存続は、グローバリゼーションおよび人類の諸活動の破壊的側面により脅かされています。私たちは、経済的に貧しい人たちがこの危機の影響を真っ先に、そして最も大きく受けることを理解します。さらに、私たちもその原因になっていることを認めます。私たち全員は、他の人たちと協力して地球と共存するための秩序だった変化をもたらす努力を続けます。私たちは次のことを誓約します。

- すべての創造物の相互関係について新しい神学上および科学的理解を勉強すること。
- グローバリゼーションについての理解と、特にそれが貧困層および地球自体におよぼす影響についての理解を深めること。
- グローバリゼーションや、貪欲さ、人種差別が多様な文化や種の健全さおよび存続に悪影響をもたらすことを理解し、そういうことをしないようにすること。
- 私たち自身の消費パターンの変化に注意を払い続けること。
- 個人および集団で行動をおこすべき特定の問題を取り上げ、これを解決するための具体的なプランをつくること。
- 私たちの想像力を通じた創造の力や芸術を呼び起こして、すべての創造物との正しい共存関係を表現し、これを経験すること。
- 私たちの努力を反省・検討し、儀式化して、祝うこと。

## 個人間の交わり： 継続的な共同体の活性化

「交わりの霊性は共同体に明確に現れる。」\*

私たち相互の交わりとすべての創造物との交わりを通して、私たちの共同体の生活は使命のために活性化されます。福音は、世界の人類社会において生・死・復活という神秘を通してキリストとの結合を呼びかけます。意図的に共同体へ関与することにより、お互いに相手が言うことを、また「親愛なる隣人」が言うことに注意を払うように心がけることによる喜びと緊張感が生まれます。私たちは個人間の交わりを深めるよう挑戦します。

私たちは次のことを誓約します。

- 共同体を育てていくために必要な習慣や技術を習得すること。
  - 複数の文化と世代をかかえる私たち修道会と使徒職が私たちに触れ、私たちを変えることを許すこと。
  - 私たちの健康と幸福の促進のために共同体で生活すること、そして他の人たちをこの生活に導くこと。
  - 共同体が可能であることを私たちの共同生活を通して証しすること。
-

**教会との交わり：  
正しい関係と正義**

教会として、私たちは使命に忠実でありたいと切に願うものです。私たちは次のことを誓約します。

- 制度的な教会に対する私たちの理解と私たちとの関係について私たちの間で対話を開始すること。
- 教会内における正しい関係および正義についての地元、教区、国内、および国際レベルの対話を促進すること。



**「親愛なる隣人」との交わり：  
使命のための集団の力**

「正義のための行為は福音の生活を送るために重要である。」\*

私たちは修道会として、関係を正すことが急務である時代において集団の力を結集します。他の集団ともできるかぎり協力します。

私たちは次のことを誓約します。

- 特に、私たちの組織力がその問題に大きな影響力を持つ場合において、正義のために団体行動を取ること。

- 修道会リーダーシップ・グループを通して、各種の問題に対する修道会内および修道会間の対話および応答のプロセスを設定すること。
- 修道会リーダーシップ・グループを通して、問題について修道会代表として公的発表をする手順を開発すること。
- 秩序だった変化のモデルについて学び、これを使用する

---

\*「世界の正義」に基づく。1971年司教会議



10

## その他の総会決定事項

### 活動

1. 修道会は、現行の特別委員会が開始した作業を継続、促進するために秩序だった変化の特別委員会を引き続き支援すること。
2. 修道会リーダーシップ・グループは、修道会員および準会員の役割に関して各管区／準管区における組織的会話のガイドラインを作り上げる。これらの会話にはユニット間の交流が含まれる。2005年1月までに、この会話の成果を修道会リーダーシップ・グループに報告すること。
3. 総会は、総会が可決した概念を最も適切に表現する日本語およびスペイン語の訳語を使用する自由を与えること。
4. 修道会リーダーシップ・グループは、2007年修道会総会の事前に修道会会議・集会を適宜開催すること。
5. C/SSJ連盟理事会との対話において、修道会は国連における存在感を高めるため連盟に追加資金を提供すること。

11

### リーダーシップ

1. 2001年に修道会のリーダーとして選任されたシスターは、フルタイム、パートタイムにかかわらず、教会政治への参加と多様な才能、および企画・意思決定に



おける各種の観点をもたらすための平等なリーダーシップと権限を持つ本部役員チームの一員として奉仕します。

2. 本部役員チームのうち3人のフルタイム・メンバーは、1期を務めた後は、フルタイムであれパートタイムであれ再選を許可されません。パートタイム・メンバーは2期めはフルタイム・メンバーとして再選されることがありますが、パートタイムとしては再選を許可されません。
3. 2001年総会は、チームモデルに関して会憲および補則書を変更しないことを選択します。1993年総会において作成された実用的理解および言葉の使用は、2007年修道会総会まで継続される。



### 会憲および補則書の変更

1. 教会法により地元教区の司教による選挙の立ち合いが不要となったため、会憲 60条は次のように変更されます。  
総会の議長が新しい総長と第一評議員の名前を公表する。投票は聖体祭儀とともに行われる。新しく選ばれた役員は、法的に空席になった時、その職務を引き継ぐ。
2. 補則書の O39~40 は、現行の実生活の実態を反映するように、次のように変更されます。  
方針作成委員会は、各管区の統治計画によって決定された方法にしたがって選出されたメンバーからなる代表機関である。議長は管区リーダーシップのメンバーである。この機関は、会憲と補則書にもとづいて方針を作成することによって管区の統括を助ける。この方針は管区の生活と奉仕職に方向性を与える。

## 2007年修道会総会の構成

2007年修道会総会の構成は次の通りです。

1. 職務上のメンバー
  - 本部役員チーム
  - 各管区・準管区リーダーシップから1名
  - 各管区・準管区リーダーシップの役職者から選択される。
2. 選出された代表者
  - 各管区から6名
  - 各準管区から2名
3. 補欠代表
  - 各管区から3名
  - 各準管区から1名
4. 管区・準管区リーダーシップのその他の役職者
  - 職務上の代表になっていない管区・準管区リーダーシップの役職者で、全総会に出席する者には、発言権が与えられる。2007年の総会では、このタイプの参加者は各管区・準管区から2名以内とする。
5. 発言権を有するその他の参加者

- 2001年の総会では、発言権を持つ参加者の総会における価値が認識された。  
各管区・準管区における組織的対話を持った後、修道会リーダーシップ・グループにより、発言権を持つ参加者の役割についての資格が決定される。発言権を持つ参加者の数は、修道会リーダーシップ・グループとの共同調整により各管区・準管区・ミッションにより決定される。



15

### 結びの言葉

告白になりますが、本総会はしばしば堂々巡りをしているように感じられることがあり、私たちは疲れることがありました。時にはスパイラルに巻き込まれて、鼓舞されたこともありました。それは最初の会合におけるすばらしい冒険からはじまりました。聖ヨセフ・ホール of 集会場で 20 卓の丸いテーブルを囲んだ集会が始まってまもなく、クローディア・ウォング(H)はそこに集まったばかりの 150 人を外に連れ出しました。私たちはそれぞれ興味津々あるいは疑わしげな思いを秘めながら、お互いに知らない人がたくさんいる集団の中で、羊のように一列にならんでそれに従いました。庭に出て曲がろうとしたときに、スパイラル(ら旋形)を形づくりながら、込み合ってきた円の中心部入って行きました。そして、そのスパイラルから出るときにお互いに微笑み合いました。そこで私たちは、お互いに恥ずかしさが一挙に吹き飛び、各自の個性が現れ、踊ったり、歌ったり、笑ったりしました。多くの人たちは陽気にはしゃぎました。円から外に向かって出るときには、外へ引っ張る力と内へ引っ張る力の両方により、体が引き伸ばされるのを感じました。会場内に戻ってから、ファシリテーターが、「窓の外を見てください。」と言いました。そこには、私たちの足で踏まれ芝生がスパイラルの形を作っていました。私たちは、自分たちが知らず知らずに作り出したこのスパイラルに驚きました。

16

この最初の経験が、その後 2 週間に渡る、「存在状態」であるスパイラルの内側に入り込むことから「行動にでる」という外側に巻き出ることを学びました。最初、私たちはこれをメアリー・マーサの行動熟慮緊張に似ていると結び付けました。一部には、奉仕職を通して得た専門知識により私たちの存在感や共同体の存在感が侵されているのではないかと疑う声もありました。また、総会提案事項は後回しにして、私たちのお互いの関係を考慮しようという意見もありました。さらに

は、「地球は死にかけている。問題が山積みされている。」と叫ぶ声もありました。私たちが奉仕と正義を行う対象である外部の共同体を重要視しなければなりません。私たちは皆、共同体の活性化およびそれに対する私たちの感覚の鋭くしたいと思いながらも、正直に言って、拮抗と反対意見がおこりました。私たちは交わりを切望しながら、堂々巡りを繰り返しているのです。

私たちはスパイラルの概念を通して、私たちの相互間および地球との交わりを生み出す神のエネルギーは中心部だけにあるのではないということを理解します。すべての創造物において、スパイラルは内外の両方に移動します。さらに、私たちの集団の力を中心に放出することで新しい力が生まれ、私たちは昔以上の新しい形に生まれ変わって外に放出されます。スパイラルは自然にある最も基本的な形の一つであることを学びました。私たちはスパイラルの形をした銀河の中に生

17

きています。渦巻きの中で、スパイラル状の動きは秩序パターンと新しい生命に発展します。交わりはすべての創造物における基本的な構成物です。それを解放することが私たちの仕事です。

私たちは、個人間の交わりと、神、隣人、地球との交わりが私たちの基本的願望であると表明しました。スパイラルの比喻により、霊性と切迫した行動願望はお互いの一部であり、反対方向に引っ張る2つの力ではないことがわかりました。スパイラルが私たちの総会の進行と結果を形づくりました。堂々巡りを続けている分野は補足として列挙しました。この分野については、リーダーシップとメンバーの協力を得て2007年の総会までにスパイラルに変えてゆきたいと思っています。

